

レジメン名称: DMPB (Dara 皮下注) (ダラキューロ+メルファラン+プレドニゾロン+ボルテゾミブ) 多発性骨髄腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

【1 コース目】

薬剤	投与量	投与日 1～9 コース目は 6 週間毎、10 コース目以降は 4 週間毎										
		Day1	4	8	11	15	22	25	29	32	36	
ダラキューロ(皮下注)	1800mg/body	↓		↓		↓	↓		↓		↓	
ボルテゾミブ(皮下注)	1.3 mg/m ²	↓	↓	↓	↓		↓	↓	↓	↓		
デキサメタゾン	20mg/body	↓		↓		↓	↓		↓		↓	
アルケラン(メルファラン)	9 mg/m ²	→ Day1～4										
プレドニゾロン	60 mg/m ²	→ Day2～4										

【2～9 コース目】

薬剤	投与量	投与日 1～9 コース目は 6 週間毎、10 コース目以降は 4 週間毎			
		Day1	8	22	29
ダラキューロ(皮下注)	1800mg/body	↓		↓	
ボルテゾミブ(皮下注)	1.3 mg/m ²	↓	↓	↓	↓
デキサメタゾン	20mg/body	↓		↓	
アルケラン(メルファラン)	9 mg/m ²	→ Day1～4			
プレドニゾロン	60 mg/m ²	→ Day2～4			

【10 コース目～】

薬剤	投与量	投与日 1～9 コース目は 6 週間毎、10 コース目以降は 4 週間毎	
		Day1	
ダラキューロ(皮下注)	1800mg/body	↓	
デキサメタゾン	20mg/body	↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方

ダラキューロ投与日: デキサメタゾン 20mg (内服)、フェキシフェナジン (60) 1 錠 (またはその同等品)、カロナール 1000mg

初回のみモンテルカスト (10) 1 錠

ダラキューロ投与 1～3 時間前に内服

アルケラン day 1～4

プレドニゾロン day 2～4

必要時: アシクロビル、フェブリック、ダイフェン

(次ページあり)

注意事項

ダラキューロ

インフュージョンリアクション（気管支痙攣，蕁麻疹，低血圧，意識消失，ショックなど）に注意。

クームス試験に影響を与えるため、ダラキューロの投与をすることを検査科へ連絡してください。

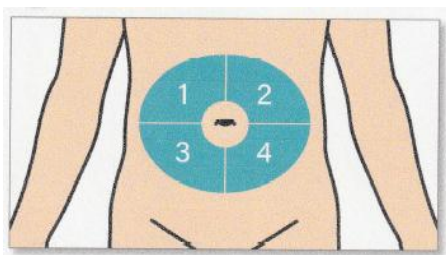
ダラキューロのインフュージョンリアクションの発現中央値は約 4 時間のため、皮下投与終了後 3～4 時間は症状発現に注意すること

シリンジに分取後、4 時間以内に使用すること。

ボルテゾミブ

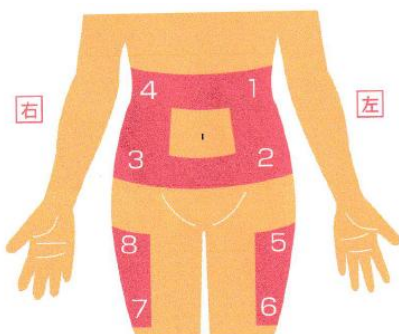
調製後、8 時間以内に使用すること。

皮下注部位はローテートすること



ダラキューロ投与部位の例

臍から左または右に約 7.5cm 離れた腹部皮下に投与する



ボルテゾミブ投与部位の例

皮下投与の部位：左右の腹部等に交互に注射するなど、前回と同じ部位への投与は避けること（皮下脂肪組織の萎縮や硬結をきたして、薬液の吸収が悪くなることもある。また皮膚の炎症などを起こす可能性が高くなる）

ダラキューロ投与方法	
1	デキサメタゾン 20mg、フェキソフェナジン（60）1 錠（またはその同等品）、カロナール（200）5 錠、初回のみ モンテルカスト（10）1 錠 内服
2	1～3 時間空ける
3	<u>ダラキューロ 1800 mg/15mL</u> 、皮下注 約 3～5 分かけて投与

ボルテゾミブ投与方法	
1	（DBdの臨床試験ではダラキューロの後に投与されていました） ボルテゾミブ _____mg，皮下注 皮下注の場合：1V（3mg）あたり生食 1.2mL で溶解し、適量を使用